

事後内部評価シート

調査研究課題名	ICカードを活用した都市交通のCRM戦略に関する調査研究 ワールドカップ時における多機能ICカード社会実験結果及びICカードを活用した交通情報統計システムの構築に関する調査結果
担当者	総括主任研究官 山口 勝弘、主任研究官 野澤 和行 前研究官 青木 宏諭、研究官 小池 剛史
当初目標と目標達成度	<p>ICカードを活用した都市交通のCRM戦略の考え方を整理するという当初目標を達成することができた。また、その具体化としてワールドカップ時における多機能ICカードに関する社会実験等が実施でき、当初の目標以上の成果を納めることができた。</p> <p>今後は、本研究の更なる展開として、事後精算（ポストペイ）型ICカードシステムの構築による運賃の弾力化に関する調査などについてとりまとめることとしている。</p>
調査研究内容の妥当性	<p>交通系ICカードの導入や共通化は進みつつあり、そのような中で、利用者ニーズの高度化、環境問題など都市交通の抱える課題への対応という行政の視点から、ICカードの活用策を調査研究することは、対応策の新たな可能性を切り開く上で、多くの示唆が含まれていた。</p>
調査研究の仕組みの妥当性	<p>最先端の知見を有する学識経験者及び民間企業並びに本省関係部局との間で、「次世代交通フォーラム」を設置し、的確な意見を受けながら調査研究を進めることができた。</p>
成果と活用	<p>社会実験等で得られた利用者のニーズを踏まえ、更なる実証実験等の実施を予定。</p> <p>学会、専門誌、省内の政策課題勉強会などで研究成果を発表するとともに、内外の多数の方と意見交換を行った。</p>
その他	<p>土木計画学研究発表会（2003年春大会）にて発表。</p> <p>月刊 Card Wave へ投稿（2003年3月号に掲載）。</p> <p>第21回政策課題勉強会（2003年3月開催）にて発表。</p> <p>PRI Review2001年秋・冬季号及び2002年秋季号に掲載し、関係者に配布済。</p>